

令和 8 年 2 月 6 日

## 国立大学法人岩手大学情報基盤センター教員公募要領

### 1. 公募の目的

岩手大学情報基盤センターは岩手大学の情報基盤・全学の情報教育全般を担う組織であり、岩手大学における教育・研究活動に対して、高度化する利用ニーズ等をふまえ、様々な情報サービスを提供可能にすることを目的として活動している。今般、全学の数理・データサイエンス・AI 教育の強化並びに本学教育 DX 対応のため、情報基盤センターにおける「情報教育」機能を強化するための教員を公募する。

### 2. 職務内容

- (1) 本学の情報基盤環境の整備、管理運用に関する業務の支援に関すること。
- (2) 数理データサイエンス・AI 教育、情報関連科目の教育および教育支援に関すること。
- (3) 数理・データサイエンス・AI 教育、情報関連科目のオンラインコンテンツの構築に関すること。
- (4) 教育・研究における DX 推進に関すること。
- (5) その他、情報基盤センターの運営に関すること。

なお、情報基盤センターの活動については以下の Web ページを参照ください。

<https://isic.iwate-u.ac.jp/>

### 3. 所属

情報基盤センター

### 4. 公募職種及び人員

准教授、講師または助教 1 名

※ 講師または助教の場合はテニユア・トラック教員となります。

### 5. 専門分野

基礎的な情報リテラシー教育およびプログラミング教育、文部科学省認定制度数理・データサイエンス・AI 教育「応用基礎レベル」の内容を、本学の学部生及び大学院生に対して、PC 等のデバイスを用いて実践的・体験的に指導でき、以下の研究分野におけるいずれかの専門性を有すること。

研究分野：情報科学、情報工学およびその関連分野

応用情報学およびその関連分野

数理データを扱う応用分野

その他、数理・データサイエンス・AI に関係する研究及びこれらを研究手法としている研究関連分野

## 6. 任期

准教授採用の場合：なし（※ただし、65歳となった年度の末日をもって退職となります。）

講師または助教採用（テニユア・トラック教員）の場合：5年。ただし、採用から3年経過する日までに中間評価、4年6か月となる日までにテニユア審査をそれぞれ行います。テニユア付与については、必要とされる目標値を達成したと判断された場合に、テニユア（講師の場合：准教授に昇任、任期なし。助教の場合：任期なし。）が付与されます。なお、中間評価において、特に優秀な評価を得た場合は、その時点でテニユア付与の適格性について審議する場合があります。

## 7. 勤務地

岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

## 8. 応募資格

(1) 准教授採用の場合：博士の学位を有し、研究分野に十分な研究実績があること。

（博士の学位を取得見込みの者を含む）

講師、助教採用の場合：修士以上の学位を有し、専門分野に研究実績があること。

赴任後、5年以内に博士の学位を取得すること。

(2) 上記の「2. 職務内容」に関連する経験を有すること。

(3) 大学構成員として適切に組織運営を担うことができること。

※本公募では、若手研究者、女性研究者、情報教育に熱心な方からの応募を歓迎します。

## 9. 待遇

給与・手当：本学規定に基づき支給

給与・手当については以下の「国立大学法人岩手大学令和2年型年俸制適用職員給与規則」をご覧ください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/about/disclosure/files/regulations/60200090.pdf>

保険：雇用保険、社会保険、労働者災害補償保険及び文部科学省共済組合に加入

休日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始

## 10. 募集期間

令和7年11月18日（火）から令和8年3月31日（火）まで

## 11. 着任時期

令和8年8月1日

## 12. 応募書類

(1) 教員個人調書（別記様式その1）

(2) 教育研究業績書（別記様式その2）

(3) 主要論文等の別刷またはコピーを5点以内。著書の場合は、その要旨を添付し、分担執筆の場合は、担当箇所を付記すること。

- (4) これまでの研究業績の概要（1,500 字程度）
- (5) 上記 2 の職務内容の経歴一覧（該当経歴がある場合）とその概要（別記様式その 3）
- (6) 上記 2 の職務内容についての抱負（2,000 字程度）（別記様式その 4）
- (7) 応募者について問い合わせができる方の氏名と連絡先（2 名）（別記様式その 5）

※ 応募用紙は、別刷等を除き、原則として A4 版に併せて作成してください。

以下の Web ページから様式をダウンロードし、作成してください。

[https:// www.iwate-u.ac.jp/target/faculty-recruitment.html](https://www.iwate-u.ac.jp/target/faculty-recruitment.html)

### 13. 選考方法

- (1) 一次選考：書類審査
- (2) 二次選考：プレゼンテーション及び面接
  - ・各選考結果（一次選考を通過された方は二次選考の詳細を含む）は、審査終了次第、メールにてお知らせいたします。
  - ・二次選考は、令和 8 年 5 月中旬から 5 月下旬の間に実施を予定しています。原則対面（旅費及び宿泊費は自己負担）ですが、海外在住者や国内遠隔地在住者については、オンラインで行う場合もあります。

### 14. 応募書類提出及び問い合わせ先

- ・応募書類は、インターネット（e-mail）により受け付けます。  
（令和 8 年 3 月 31 日（火）17 時必着）
- ・応募書類は、それぞれ PDF 形式のファイルとしてメールに添付して、応募先メールアドレスにお送りください。添付ファイルのサイズは 25MB 以内としてください。25MB を超える場合は、分割してお送りください。  
なお、メールの件名は「情報基盤センター教員応募」としてください。書類受領後 3 日以内にメール返信をしますので、返信がない場合はお問い合わせください。  
書籍などメールに添付できない書類を送る場合には、封筒の表面に「情報基盤センター教員応募書類在中」と朱書きし、問い合わせ先に簡易書留で郵送してください。

(1) 応募先アドレス：isic\_apply@iwate-u.ac.jp

(2) 問い合わせ先

〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目 18 番 8 号

岩手大学情報基盤センター

センター長 宮川 洋一

e メール：isic\_apply@iwate-u.ac.jp

電話：019-621-6512

### 15. ダイバーシティへの取り組み

岩手大学はダイバーシティを推進しています。その一環として本公募に関連し以下の取組

を実施しています。

【女性教員採用促進に関する取組】

- ・ 本学に赴任する女性教員に対して、研究費として以下の定着支援経費を支給します。

教授・准教授は 50 万円×2 年間

講師・助教は 10 万円×2 年間

- ・ 産前産後休暇、育児休業および介護休業を取得していた場合（性別不問）には、選考の過程で考慮します。

※両住まい手当制度など、女性等多様な研究者の増加・定着のための支援策を行っております。各種支援制度については、こちら (<https://parun.iwate-u.ac.jp/gender/index.html>)、学内保育所については、こちら (<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/wlb/#link5>)、学内保育スペースについては、こちら ([https://parun.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun\\_guide.html](https://parun.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun_guide.html)) をご覧ください。

【若手教員採用促進に関する取組】

- ・ テニユア・トラック教員（講師・助教）に対して、上記定着支援経費に加え、研究費として以下のスタートアップ支援経費を支給します。

※理系(自然科学全般または自然科学と人文・社会科学との融合分野)：100 万円×2 年間

## 16. その他

- (1) 応募書類に含まれる個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報は責任をもって破棄いたします。
- (2) 原則として、応募書類は返却しません。郵送で提出した書類の返却を希望する方は、住所氏名を記載した宅配便の伝票（着払用）を同封してください。
- (3) 着任後は、盛岡市または勤務可能な近隣の地域に居住していただきます。
- (4) 岩手大学では、教養教育等の全学実施体制を図るため、採用分野を踏まえ、「教養教育科目」または「専門基礎科目」から 1 科目以上を必ず担当していただきます。また、新規に着任いただく教員に FD 研修の一環として「遠隔授業用オンデマンドコンテンツの作成及び動画シラバス（概要紹介）」を必ず作成していただくことにしています。この取組は、多様化する学びのニーズに応えるとともに、多様かつ高度なメディア活用を推進するための取組です。応募者の研究専門分野に係る教養教育科目の学問知科目または担当する授業科目について、全学部の低年次の学生にも理解できる難易度とし、遠隔授業用オンデマンドコンテンツは、原則 1 単位（1 回 100 分全 7 回）×2 科目（2 単位）以上、又は 2 単位（100 分全 14 回）×1 科目（2 単位）以上分の授業内容としています。